

【道路建設課所管 事後評価審議資料】

○令和元年度 事後評価実施箇所一覧表	・・・p 1
1) 道路改築事業「(国) 3 6 1 号 上ヶ洞バイパス」	
・事後評価箇所表	・・・p 3 ～ 4
・説明資料 (パワーポイント)	・・・p 5 ～ 1 1

令和元年度 事後評価実施箇所一覧表 1月29日審議箇所

番号	担当課名	県事業		事業採択年度	完了年度	全体事業費 (百万円)		事業名	路線・地区・河川名等	実施箇所 (市町村名)	対応方針(案)		
		補助 交付金	県単			上段:当初 下段:最終	今後の事後評価の 必要性				改善措置の必要性	新規事業へ適用すべき留意点	
1	道路建設課	○		H15	H29	6,000 5,400	道路改築事業	一般国道361号 上ヶ洞ハイパス	高山市	今の段階では必要 無し	今の段階では必要無し	希少種など、必要な環境調査を行い、環境に配慮した事業の実施をしていく	

令和元年度 事後評価箇所表

担当課〔道路建設課〕

番 号	1	事業名 (路線名等)	道路改築事業 一般国道361号 上ヶ洞バイパス
事業実施箇所	たかやましたかねまちかみがほら 高山市高根町上ヶ洞 地内		全体事業費 (当初事業費) 54億 (60億)
採択年度	平成15年度	完了年度	平成29年度
事後評価の実施基準	改良延長 L=2.0km以上、全体事業費10億円以上		
事業目的	<p>一般国道361号は、岐阜県高山市から長野県伊那市に至る延長約11.7km（県内延長約4.5km）で、第2次緊急輸送道路にも指定されている重要な幹線道路である。本事業は、このうち高山市高根町上ヶ洞地内において2.14kmのバイパスを整備したものであり、雨量規制区間の解消、災害時に有効に機能するネットワークの強化、隣接県との連携及び圏域間の連携強化・観光交流や産業振興の推進を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：2.14km 車道幅員：3.00m×2車線 主要構造物：高根トンネル L=1,981m 上ヶ洞大橋 L=86m</p>		
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>土工部</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>トンネル部</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> </div>		

評価結果	
① 住民参加・協働による効果	<p>○一般国道361号の沿線の市町村による観光PR活動が実施されている。</p> <p>○高根トンネル開通式には、地域住民も参加し事業への理解と愛着の醸成を図った。</p>
② 事業の効果	<p>○雨量規制区間の解消及び災害時に有効に機能するネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備前の道路は幅員が狭く、雨量規制の通行止めが発生するなど緊急輸送道路としては脆弱であったが、本事業により、円滑な交通、常時の通行を確保し、第2次緊急輸送道路として防災拠点間を結ぶネットワーク機能の信頼性が向上した。 <p>○観光交流や産業振興の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上ヶ洞バイパスの整備により高山市高根町及び長野県木曾町の観光資源へのアクセスが向上した。また、高山駅と木曾福島駅の間で観光タクシーが試験的に運行されるなど、観光産業の推進に寄与された。 <p>○消防・救急活動への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭隘区間、線形不良区間の回避により、移動時間・搬送時間が短縮され、走行性も向上したことで、搬送患者への負担が軽減された。 <p>○費用対効果分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/Cは1.1であり、一定の効果が見込まれる。
③ 環境面への配慮	<p>○工区周辺に生息する希少猛禽類「クマタカ」に配慮し、モニタリング調査を実施し、有識者のアドバイスを受けながら工事を実施した。</p>
④ 事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>○平成30年度に東海北陸自動車道の白鳥ICと飛騨清見IC間の4車線化工事が完了した。</p> <p>○平成25年度に国道41号の高山国府バイパスが開通した。</p>
⑤ 利用者・地域住民等への効果	<p>○地域住民アンケートでは、「整備に対する満足度」「地域にとっての有益性」の各項目とも9割以上が効果を感じている。</p> <p>○利用者ヒアリングでも、「所要時間短縮」「走行快適性・安全性向上」それぞれで9割以上が満足・やや満足と回答し、効果を感じている。</p>
⑥ 対応方針(案)	<p>○今後の事業評価の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では必要無し。 <p>○改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では必要無し。 <p>○新規事業へ適用すべき留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少種など、必要な環境調査を行い、環境に配慮した事業の実施を推進していく。

事後評価 道路改築事業

かみがほら 一般国道361号 上ヶ洞バイパス

県土整備部 道路建設課
令和2年1月

位置図 ①



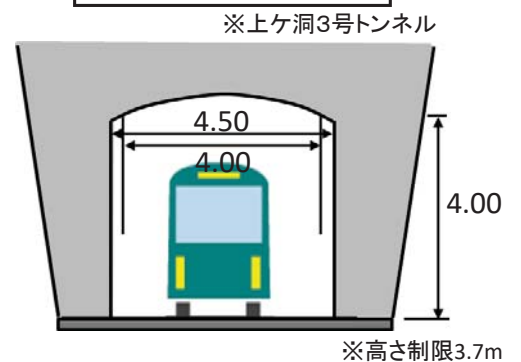
位置図②



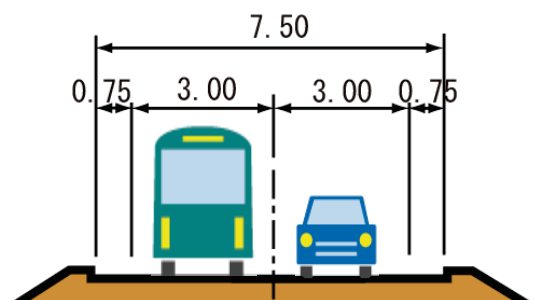
事業概要

- 起終点 : 高山市高根町上ヶ洞
- 全体延長 : 2.14km (うちトンネル1.98km)
- 総事業費 : 54億円
- 事業着手 : 平成15年度
- 完成 : 平成29年度
(供用開始: 平成29年4月27日)
- 幅員 : 車道 3.00m × 2車線
- 道路規格 : 第3種第3級

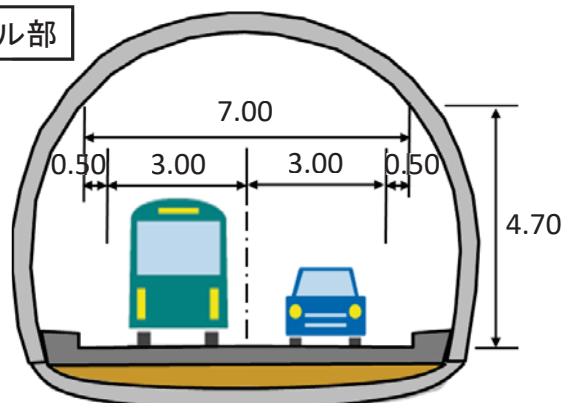
旧道 (トンネル部)



土工部



トンネル部



住民の参加・協働による効果

一般国道361号の沿線市町村による観光PR活動

さんろくいち

■「山麓一の麺街道フェスタ」等、沿線市町村による観光PR活動の実施。



(C)長野県伊那市

高根トンネル開通式における地域住民の参加

■地域住民に関心・愛着を持っていただくため、開通式で地域住民による和太鼓の演奏や子ども達によるテープカット等を実施。



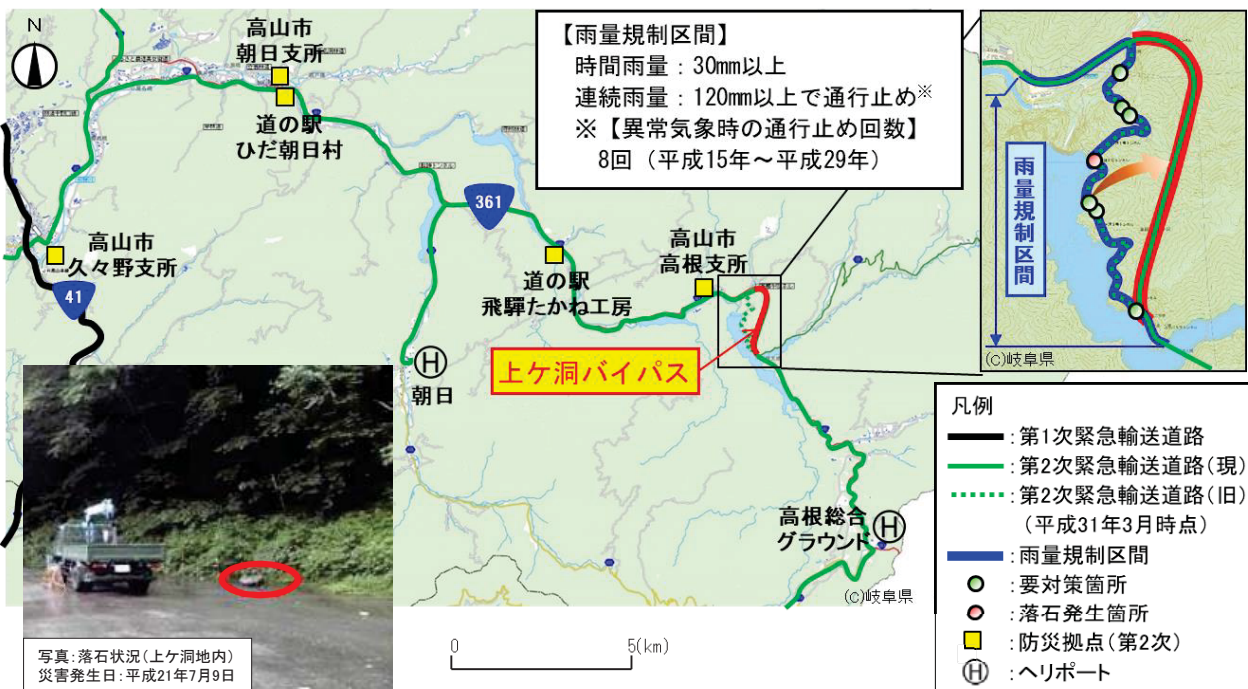
4

事業の効果①

雨量規制区間の解消及び災害時に有効に機能するネットワークの強化

■雨量規制区間の解消。

■緊急輸送道路として防災拠点間を結ぶネットワーク機能の信頼性の向上。



5

事業の効果②

観光交流や産業振興の推進

- 上ヶ洞バイパスの整備により高山市高根町及び長野県木曾町の観光資源へのアクセスが向上。
- 高山駅と木曾福島駅の間で観光タクシーが実験的に運行。



6

事業の効果③

消防・救急活動への貢献

- 上ヶ洞バイパスの整備により、移動時間・搬送時間が短縮。
- 狭隘区間、線形不良区間回避により走行性向上及び患者の負担が軽減。



7

費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 92%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 8%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 0%

投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.1 \text{ (全体)}$$

前回評価時
(H24年度再評価)
1.2(全体)

※費用便益分析マニュアル(国土交通省H30.2)に基づき算出

環境面への配慮

希少猛禽類に配慮した工事を実施

- 工区周辺に希少猛禽類「クマタカ」生息。
- モニタリング調査を実施し、有識者のアドバイスを受けて希少猛禽類に配慮した工事を実施。



希少猛禽類「クマタカ」



仮設備照明: ナトリウム灯

※クマタカ(タカ目タカ科)

- 分布
北海道、本州、四国、九州に分布するが西日本では減少しているという。国外では東アジア、台湾に分布する。県内では、飛騨市、高山市、郡上市、下呂市、揖斐川町、本巣市、八百津町などの山地帯で広く繁殖が確認されている。
- 貴重性
環境省RDL 絶滅危惧IB類
岐阜県RDL 絶滅危惧II類

<希少猛禽類に配慮した工事>

- ・仮設備照明にナトリウム灯使用
- ・低騒音、低振動型建設機器による工事実施
- ・トンネル掘削時の発破音低減のため、坑口に防音扉を設置

事業を巡る社会経済情勢等の変化

東海北陸自動車道の4車線化

- 東海北陸自動車道は 一宮JCTから飛騨清見ICまでの4車線化が完了。
- 国道41号は、平成25年9月に高山国府バイパスが開通。
- 中部縦貫自動車道は、高山IC～丹生川IC(仮称)が整備中。



10

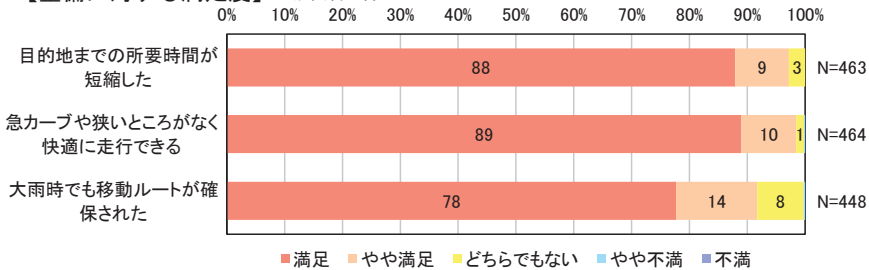
利用者・地域住民等への効果

アンケート調査結果

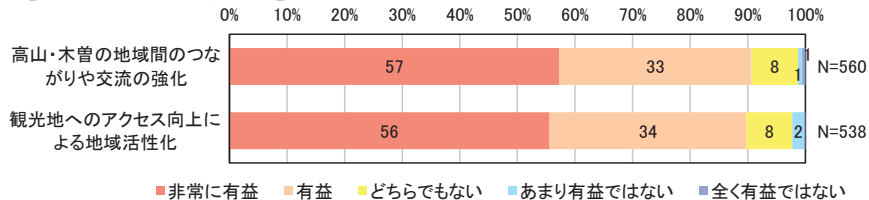
- 地域住民アンケートでは、「整備に対する満足度」「地域にとっての有益性」の各項目とも回答者の9割以上が効果を感じている。
- 利用者ヒアリングでも、「所要時間短縮」「走行快適性・安全性向上」それぞれで9割以上が効果を感じている。

地域住民アンケート

【整備に対する満足度】※無回答は除く



【地域にとっての有益性】※無回答は除く

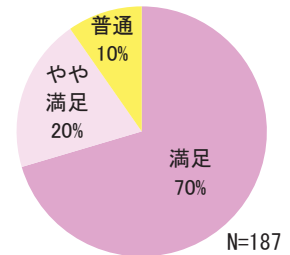


調査方法

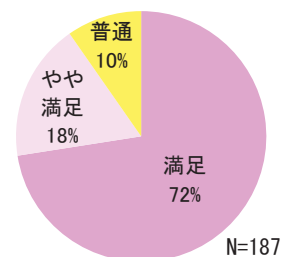
- ・ 当該区間を通行する可能性のある1,171世帯の地域住民を対象
- ・ 郵送配布8/9 郵送回収率8/31

利用者ヒアリング

【所要時間短縮効果に対する満足度】



【走行快適性・安全性向上に対する満足度】



対応方針(案)

◆今後の事後評価の必要性

- 「災害時に有効に機能するネットワーク強化」「消防・救急活動への貢献」などの事業効果を確認。
- 地域住民アンケートや利用者ヒアリングでも、9割以上の回答者が効果を感じている。
→今の段階では、今後の事後評価は必要無し

◆改善措置の必要性

- 供用後、事故は発生しておらず、現段階では改善措置の必要は無い。
→今の段階では、改善措置の必要無し

◆新規事業への適用すべき留意点

- これまでも実施してきたが、貴重種のモニタリング調査など、必要な環境調査を行い、環境に配慮した事業の実施を引続き推進していく。